

千葉県木更津市

【1期計画 平成32年4月

～平成37年3月】

・南房総、東京湾岸に位置する温暖なまち。古くから港町として栄え、昭和後半には木更津・川崎間でカーフェリーが就航していた、その後、陸上交通でも館山道、圏央道、東京湾アクアラインが開通し、今も昔も交通の要衝となっている。平成4年には業務核都市に位置づけられ、平成11年には国際会議観光都市に認定された。平成23年には人口が13万人を超え、現在も増加傾向にある。
・人口135,318人(出典:住民基本台帳平成31年1月1日)、面積138.95km²

【中心市街地の課題等】

○賑わいの再生

中心市街地は、みなとまち木更津の顔であり、古くから広域交流拠点として発展してきたが、近年、相次ぐ大型店舗の撤退や、郊外部への市街地の拡大・大型店の立地等により都市のスポンジ化が進行し、まちなかの集客力やイメージの低下を招いている。市街地に隣接する港についても人々が憩う空間となっていないことから、地域資源の持つ魅力に磨きをかけ、活かすことにより、賑わいを再生することが急務。
※富士見通り歩行者通行量:(2地点合計、人/10時間)

29,600人(S63) → 2,320人(H16) → 1,450人(H26)[S63比95%減]

○暮らしやすさの向上

駅西側については、平成初頭に比べて人口が3割も減少して空き家や空き地が増加し、駅東側では、土地区画整理事業地内においても低未利用地がある状態。中心市街地において生活の質の向上を図り、誰もが安心・安全に暮らし続けることができる環境づくりを進めてまちなかへの居住を推進していくことが必要。

※地区内人口: 5,609人(H1) → 4,621人(H30)[18%減]

○市民参画の推進

人がつながり支え合う、持続可能なまちを目指し、市民や事業者の主体的な参画や関係者間の連携を図る。そのためには、今後まちづくりに参画する人や団体を発掘し、互いに学び合い、共にまちづくりを推進する人や団体を増やすことが必要。

目標	目標指標	基準値	目標値
■魅力づくりの視点 多様な魅力を活かした にぎわいあるまちづくり	歩行者交通量 (休日:富士見通り)	1,450人 (平成26年)	1,740人 (平成26年の20%増)
■暮らしの視点 誰もが暮らしやすいまちづくり	居住人口	4,621人 (平成30年)	4,850人 (平成30年の5%増)
■参加と協働の視点 楽しく参加 心地よく協働できるまちづくり	主要4イベントの参加団体数	●●団体 (平成30年)	●●団体 (平成30年の●%増)

【目指す中心市街地の都市像】

木更津の魅力と愛着を創出するまちづくり

■魅力づくり(交流・支援)の視点

多様な魅力を活かした
にぎわいあるまちづくり

■暮らしの視点

誰もが暮らしやすいまちづくり

■参加と協働の視点

楽しく参加、心地よく協働できるまちづくり

【主要事業】

- ・パークベイプロジェクト(鳥居崎海浜公園整備)
- ・パークベイプロジェクト(富士見通り歩道改良)
- ・景観形成推進事業
- ・みなとの賑わい創出事業費(大型クルーズ船寄航誘致)
- ・木更津港まつり
- ・冬花火

など

【主要事業】

- ・街なか居住マンション建設補助、取得助成
- ・空家バンク・リフォーム助成
- ・空き店舗活用支援
- ・中央公民館仮移転
- ・西口駐車場改修
- ・駐輪場整備
- ・防犯パトロール

など

【主要事業】

- ・オーガニックシティ推進事業
- ・アクアコイン普及推進事業
- ・矢那川桜まつり
- ・木更津あかり祭～夜灯～
- ・木更津ナチュラルバル
- ・商業団体等活性化支援事業(イベント事業)
- ・木更津みなと口こども食堂

など

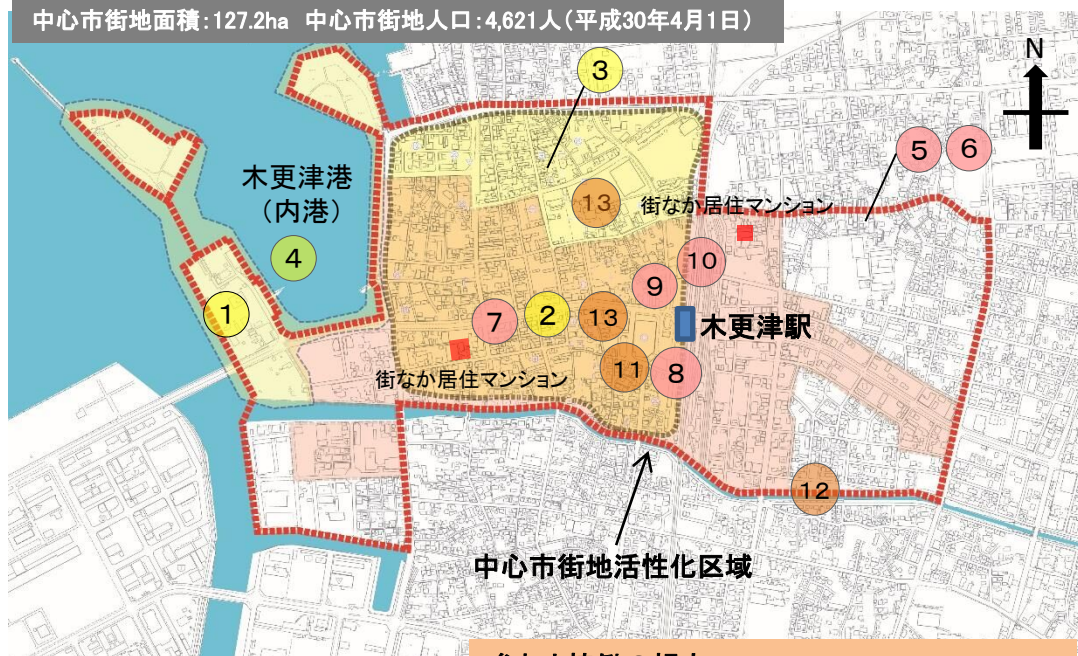
木更津市中心市街地活性化基本計画の事業概要

魅力づくり(交流・支援)の視点

(多様な魅力を活かした にぎわいあるまちづくり)

- ① **【パークベイプロジェクト(鳥居崎海浜公園整備)Park-PFI事業等**を活用して、内港周辺臨海部の都市公園等公有地に民間の集客施設等を誘致し、にぎわいと憩いの空間とする。
- ② **【パークベイプロジェクト(富士見通り歩道改修)】** 富士見通り(市道260号線)の歩道整備を実施する。
- ③ **【景観形成推進事業】** 木更津駅西口地区を景観形成重点地区に指定し、特性に応じた景観形成方針等を設定することにより、きめ細かい景観づくりを推進する。
- ④ **【木更津港まつり】** 木更津港まつりは、毎年8月に2日間にわたりで開催され、1日目は「やっさいもっさい踊り」、二日目には約1万発の花火が打ち上げられ、たくさんの観客が訪れる。

中心市街地面積:127.2ha 中心市街地人口:4,621人(平成30年4月1日)



暮らしの視点 (誰もが暮らしやすいまちづくり)

- ⑤ **【街なか居住マンション建設補助、取得補助】** 土地利用の共同化、高度化及び定住促進に寄与する事業を施行する民間事業者に対し、木更津市街なか居住マンション建設補助金を交付、並びに取得した人に補助金を交付する。
- ⑥ **【空き家バンク・リフォーム助成】** 空家バンクを活用し、移住・定住を促進する。また、空家バンクの活用を促進するため、バンクに登録された空家のリフォームに対する助成支援を行う。
- ⑦ **【空き店舗活用支援】** 空き店舗をリフォームし、出店(新規出店事業)・店舗併用住宅所有者(店舗併用住宅改修事業)に対する改修工事費の一部補助を実施する。
- ⑧ **【中央公民館仮移転】** 耐震性能不足の現中央公民館を閉館し、スパークルシティ木更津6階・B館3階に仮移転した場所にて運営を継続する。
- ⑨ **【西口駐車場改修】** 平成4年6月から供用している西口駐車場施設は、老朽化が著しく、非常照明等の電気設備等に不具合が確認されているため、改修する。
- ⑩ **【駐輪場整備】** PFI事業を活用し、木更津駅東口第2～第3及び西口第1～第2自転車駐車を建替える。

参加と協働の視点

(楽しく参加、心地よく協働できるまちづくり)

- ⑪ **【オーガニックシティ推進事業】** 木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会主催のイベントを実施する。
- ⑫ **【矢那川桜まつり】** 矢那川沿いの約100本の桜が満開になるときに「桜まつり」を開催し、夜間の桜ライトアップも実施する。
- ⑬ **【木更津あかり祭～夜灯～】** 木更津駅西口周辺、第一小学校を会場とし灯籠や、竹あかりをキャンドルで灯す。